

成田市議会だより No.74

平成26年 3月定例会

2014.5.1発行



表紙写真募集

成田市議会だより(8月1日号)に掲載する写真を募集します。

「あなたが想う
成田らしい写真」

締切は7月14日(月)

詳細は18ページをご覧ください

記念公園に春がやってきた

成田の桜の名所、三里塚記念公園。貴賓館と一緒に桜を枝下から撮りました。

撮影者：吉岡 昭則 様

主な内容

常任委員会	3	予算特別委員会	10
議案と審議結果一覧	5	一般質問	11
特別委員会	7	コーヒータイトム	18
平成25年度の行政視察	9		

3月

定例会の
あらまし

45議案を可決・同意

平成26年度当初予算や 歯と口腔^{こうくう}の健康づくり推進条例制定 など

平成26年3月定例会は、2月21日に招集され3月20日まで28日間の会期で開かれました。定例会の初日には、38議案が上程されました。

2月26日には、予算特別委員会が新たに設置されました。

一般質問は、各会派の代表質問と個人質問が2月26日から4日間、21人の議員が登壇して行われ、3月3日には議案1件を同意しました。4日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案37件と追加議案5件および発議案2件を原案どおり可決し、また、請願1件を不採択とし、閉会しました。

3月定例会の日程

月 日	内 容
2月 21日 (金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
26日 (水)	本会議(代表質問)、予算特別委員会
27日 (木)	本会議(一般質問)
28日 (金)	本会議(一般質問)
3月 3日 (月)	本会議(一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託)
4日 (火)	健康づくり特別委員会、交通対策特別委員会
5日 (水)	空港対策特別委員会、大学誘致調査特別委員会
6日 (木)	建設水道常任委員会、教育民生常任委員会
7日 (金)	経済環境常任委員会、総務常任委員会
10日 (月)	予算特別委員会
11日 (火)	予算特別委員会
12日 (水)	予算特別委員会
13日 (木)	予算特別委員会
14日 (金)	議会改革特別委員会
18日 (火)	予算特別委員会
20日 (木)	本会議(会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)

常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

総務 常任委員会

議案10件をいずれも可決し、陳情1件を不採択としました。所管事務について5件の報告を受けました。

▼成田市債権管理条例制定

[内 容] 債権の管理における市長の責務を明確化し、債権の管理・回収のために必要な手続きを定め、適正な執行を図るとともに、回収困難となった債権の円滑な不納欠損処理^{注1}を行うための放棄に関することなど、債権管理の事務処理について定め、その適正化を図るもの。

[主な質疑]

問 この条例をつくることで、今までと何が違うのか。

答 今まで私債権に関するものなど、税務部門以外では、徴収のノウハウがないことから、思うように回収できていなかった実情があり、統一的に、全庁で債権回収に当たっていくため、この条例を定めた。

^{注1} 滞納分の徴収金が徴収できなくなったとして、その金額を消滅させること。

▼特別職の職員の給与の特例に関する条例制定

[内 容] 平成26年2月に判明した生活保護業務担当係長による公金横領などの不祥事に関し、管理監督責任にかんがみ、市長、副市長の給料の100分の10を平成26年4月から6月までの3か月減額支給する措置を講じるもの。



▼成田市心身障害児就学指導委員会条例の一部改正

[内 容] 心身障害児就学指導委員会の名称を心身障害児教育支援委員会と改め、その所掌事務として、心身障害児の教育相談および教育支援を位置付けるとともに、必要に応じて関係者から参考意見等を聴取できるようにするなど、所要の改正を行うとともに、関連する条例の改正を行うもの。

教育民生 常任委員会

議案13件をいずれも可決しました。所管事務について8件の報告を受けました。

[主な質疑] **問** 早期からの対応を拡充していくということだが、その考え方は。

答 平成25年度から障がい者福祉課を窓口として保護者と相談しながらライフサポートファイル^{注2}を作成しており、入学後も、これらの有効活用を図りながら、療育からの一貫した支援が行われるよう努めていく。

^{注2} 教育や福祉で支援が必要な児童について、日々の成長や支援内容を記録するファイル。

▼成田市地区運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

[内 容] 学校適正配置計画に基づき、閉校となる東小学校、滑河小学校および高岡小学校の体育館および運動場については、市民の健康増進およびスポーツ活動の促進を目的として有効利用を図るため、地区運動施設として位置付けをするもの。

[主な質疑] **問** 閉校する下総4小学校について、跡地活用が決まるまでは、2施設は体育館、運動場を使用するが、残りの2施設の使用方法是。

答 運動施設として使われる2校以外の2校については、避難場所としても使えるが、学校跡地利用の検討の中で、教育委員会としての考え方を提案していく。

経済環境 常任委員会

議案4件をいずれも可決しました。
所管事務について8件の報告を受けました。

▼成田市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例の一部改正

[内 容] 埋立ておよび堆積行為等の事業における許可に当たって、暴力団員等を欠格要件として規定し暴力団を排除するとともに、届出等に添付が必要な書類および図面の明確化や、民法の改正に伴う条文の整備など、所要の改正を行うもの。

[主な質疑] **問** 特定事業の申請人が暴力団員等か否かを判断、確認する方法は。

答 法人の場合は、許可申請書に記載された各役員の住所、氏名、生年月日を成田警察署に照会し、暴力団員等に該当するか確認する。

▼（仮称）さくらの山観光物産館建設工事（建築）請負契約の変更

[内 容] 当該建設用地で地中埋設物が見つかり、その撤去と処分に時間を要したことから、工期を延長することに伴い、経費の増加が必要となることにより変更契約を締結するもの。

[主な質疑] **問** 地中からは、どのようなものが出てきたのか。

答 アスファルト片やコンクリート片、建設廃材などが出てきたが、所定の手続きに従って適正に処分している。

▼JR成田駅東口再開発ビルA棟建設工事請負契約の変更

[内 容] 建設工事請負契約書の規定による賃金および物価水準の変動に伴う請負代金額の増額等について、協議が整ったことから、変更契約を締結するもの。

[主な質疑] **問** 今回の契約変更は、昨年の物価スライドに基づいての変更だが、今年度の物価スライドの関係では変更があるのか。

答 残工事が対象となることから、あったとしてもその影響は小さいものと考えている。

建設水道 常任委員会

議案5件をいずれも可決しました。
所管事務について3件の報告を受けました。

●委員会で審査された陳情

▶ 成田市コンプライアンス^{注3} 条例に関する陳情 不採択 <総務常任委員会>

^{注3} 法令や各種規則などのルール、さらには社会的規範などを守ること。



可決した意見書・附帯決議

3月定例会では、議員から提出された下記の議案（発議案）が可決されました。また、意見書については、国および関係行政機関に提出されました。

■ 新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書

■ 議案第30号「平成26年度成田市一般会計予算」に対する附帯決議^{注4}

^{注4} 議会または委員会における審議の対象である事件の議決にあたり、その事件について付随的に付けられる意見や要望の決議。



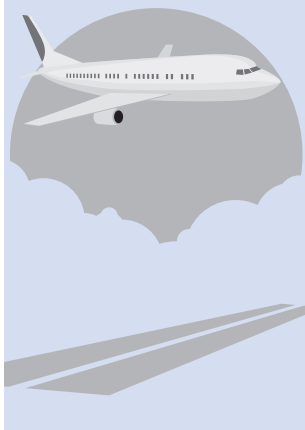
議案番号	件名	議決結果	政友クラブ										豪政会			リベラル成田		公明党		清政会		共産党		市工								
			神崎勝	伊橋利保	雨宮真吾	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	神崎利一	村嶋照等	石渡孝春	宇都宮高明	海保貞夫	飯島照明	小山昭	上田信博	青野勝行	伊藤昌一	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	一山貴志	水上幸彦	大倉重雄	福島浩一	佐久間一彦	平良清忠	鶴澤治	馬込勝末	足立満智子	會津素子
◆議案																																
25	平成25年度成田市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
26	平成25年度成田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
27	平成25年度成田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
28	平成25年度成田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
29	平成25年度成田市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
30	平成26年度成田市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
31	平成26年度成田市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
32	平成26年度成田市下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
33	平成26年度成田市公設地方卸売市場特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	平成26年度成田市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
35	平成26年度成田市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
36	平成26年度成田市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
37	平成26年度成田市簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
38	平成26年度成田市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
39	特別職の職員給与の特例に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
40	平成25年度成田市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
41	平成26年度成田市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
42	橋賀台保育園大規模改修工事(建築工事)請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
43	(仮称)さくらの山観光物産館建設工事(建築)請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆発議案																																
1	新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
2	議案第30号「平成26年度成田市一般会計予算」に対する附帯決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆請願																																
1	成田市の平成26年度予算に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	

※ ○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席
 ※ 議長(上田 信博)は採決に加わりません。
 ※ 党派等の名称の略は次のとおり 共産党=日本共産党、市=無所属市民の会、工=エコピースの会

特別委員会

本会議で委員会に付託された議案と審査内容、および報告された内容の一部を要約して紹介します。

空港対策 特別委員会



●成田国際空港第3滑走路建設に係わる要望書

平成26年2月27日に成田商工会議所をはじめ市内4団体より、日本の首都圏空港の受け入れ容量の限界や、各国の空港の受け入れ能力の飛躍的向上により、成田空港における第3滑走路の建設が急務との考えから、成田市に要望書が提出されたとのことでした。

また、平成26年1月15日には、千葉県内経済3団体及び成田市内3団体より同様の要望書が国土交通大臣に提出されているとのことでした。

現在、国土交通省では、首都圏空港の機能強化について検討をしているため、成田市としては、今後の国の動向を注視していきたいとのことでした。

●ノンストップゲート化

駅ゲートについては平成26年3月末をめどに、車両ゲートについては平成26年9月末までにカメラシステムを設置し、平成27年3月末をめどに、千葉県警察当局とともに警備レベルの維持向上を図り、ノンストップゲート化を実現させたいとのことでした。

●太陽光発電設備の設置

空港西側の用地に、太陽光発電設備を設置することとし、平成26年度内に運転を開始する予定とのことでした。

交通対策 特別委員会



●「成田市オンデマンド交通^{注5}に関するアンケート調査」の結果報告

調査は、利用登録者のうち平成25年4月以降も利用している300名、利用のない320名、そして未登録者1,000名の合計1,620名を対象に行い、927名から回答があり、回収率は57.2%となっているとのことでした。

また、アンケート結果については、東京大学大学院との共同研究のデータとして、今後取りまとめを行うとのことでした。

[主な質疑] **問** 運行時間延長の要望に対してどう応えていくのか。

答 地域公共交通会議で協議をして決定しているため、時間変更の要望が多い場合には、同会議に諮って承認を求めていかなければならない。

注5 家から歩いていける範囲に乗降場を設けた乗合型のタクシー運行。

●自転車道整備計画（JR成田駅西口線）

JR成田駅西口から成田警察署前交差点までの区間で、現在の3車線を2車線にし、左側車線を自転車道として整備することを検討しているとのことでした。

なお、JR成田駅西口から市道田護台線交差点までは、自転車道を設置した場合、バスレーンやバス停との取り合いによる危険性などがあるため、整備計画から除外するとのことであり、今後、千葉県公安委員会と協議を進めていくとのことでした。

[主な質疑] **問** 塾の送迎による渋滞が心配されるが、何か協議はしたか。

答 2車線にはなるが、そういったことも考慮し、自転車道の幅員について決定していこうと考えている。



健康づくり 特別委員会



▼成田市歯と口腔^{こうくう}の健康づくり推進条例制定

[内 容] 市民の歯と口腔の健康づくりの推進と疾患の予防について、行政・市民・歯科医師等、関係者の責務と役割を明確にするとともに、施策の推進に向けた取り組みを総合的かつ計画的に行うことにより、市民の健康の保持増進および健康寿命の延伸に寄与することを目的として、本条例を制定するもの。

[主な質疑] **問** 成田市ならではのこの条例の特徴は。

答 子どもの歯と口腔の健康づくりについて、保護者による不適切な対応を防止し改善すること、航空機災害を含めた災害等の対応を明確に規定している。

●胃がん検診および乳がん検診における電話予約制

現在、成田市が実施している集団検診におけるエックス線による胃がん検診および女性の乳がん検診のうち、視触診検査については受け付け順により実施してきたが、平成26年度から新たに電話による事前予約制度を導入することとした。

議会改革 特別委員会



●議会基本条例の制定

2月19日開催の委員会では、議会基本条例制定に向けて、3つの作業部会から検討状況の中間報告を受け、意見交換を行いました。

A作業部会からは、議会議員の活動原則、正副議長の立候補制、会派、委員会活動、議会図書館についての中間報告がありました。

B作業部会からは、市民と議会の関係から、議会の原則公開、公聴会制度、参考人制度について、議会の広報活動から、パブリックコメント、議会モニター制度、議会報告会、議会事務局の体制整備について中間報告がありました。

C作業部会からは、反問権^{注6}、自由討議、対面質問席の設置について中間報告がありました。

そして、正副議長の立候補制は、導入する方向で研究、検討することとし、議会報告会は、今後研究が必要だが、実施する方向で検討する。対面質問席の設置は、現段階では設けない方向で検討することとしました。

また、3月14日開催の委員会では、2月19日の各作業部会の中間報告から、反問権と自由討議、広報活動について意見交換を行いました。

反問権については、導入の方向で考えるが、反問を認める範囲は、今後さらに詰めることとしました。

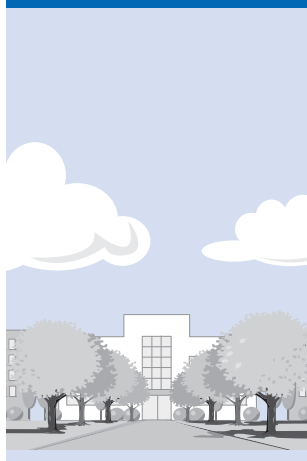
議員間の自由討議については、積極的に導入する方向で検討することとしました。

広報活動については、多様な広報手段の活用について検討していくこととしました。

広報広聴委員会については、設置する方向で検討していくこととしました。

注6 市長等が、議員の質問に対して論点・争点を明確にするため、議員に質問（反問）すること。

大学誘致 調査 特別委員会



▼成田市の平成26年度予算に関する請願書

[主な意見] ● この大学誘致事業が、将来の成田市にとって、また市民にとって、どうなるのかという視点で慎重に審議し、その結果、12月議会で市有財産の購入およびその無償貸与の議案を可決した。このような状況から、この医療系大学誘致を推進すべきと考え、本請願には反対をする。

●平成26年度予算（国際医療福祉大学建設費補助金）

平成28年4月1日の開設に向け、補助金として、大学施設の建設工事に要する経費について、補助率2分の1、補助限度額を30億円として、また、工期として、平成26年度および平成27年度の2カ年を予定していることから、年度ごとの交付額を定め、予算計上をするとのことでした。

平成26年度分の交付額については最大15億円とし、平成27年度分の交付額については、全体事業費が確定した後、補助金全体の交付確定額から平成26年度分の交付額を控除した額を交付するとのことでした。

[主な質疑] **問** 大学として建設に関する見積書を何社からとったのか。

答 3社から提出されたと聞いている。

平成25年度の行政視察

各委員会などでは、先進事例を学ぶため行政視察を実施しました。
行政視察報告書は、市議会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

■ **総務常任委員会**(10月22日～24日)
唐津市：ICTを活用した街づくり事業
武雄市：交流サイト(SNS)を活用した情報発信
伊万里市：食のまちづくり事業

■ **教育民生常任委員会**(10月22日～24日)
那覇市：子育て支援、病児・病後児保育
泉南市：認知症ケア推進事業
東海市：不妊治療費の助成制度

■ **経済環境常任委員会**(10月21日～23日)
真庭市：自然エネルギーを活用した循環型社会
美作市：地域おこし協力隊
尾道市：おのみちフィルム・コミッション

■ **建設水道常任委員会**(10月15日～17日)
小松市：定住促進支援制度
白山市：都市計画の見直し
近江八幡市：風景づくり事業

■ **空港対策特別委員会**(11月18日～20日)
関西国際空港：経営統合の経緯と今後の展望
神戸市：空港を核としたまちづくり(医療産業都市等)
豊中市：空港を活かしたまちづくり、環境対策

■ **交通対策特別委員会**(11月12日～14日)
朝倉市：公共交通事業
北九州市：自転車安全利用に向けた総合的整備
福岡市：自転車の安全利用に関する条例

■ **健康づくり特別委員会**(7月30日～8月1日)
由布市：健康マイレージ事業
宗像市：健康増進計画、食育推進計画
糸島市：健康づくり推進条例

■ **議会改革特別委員会**(1月15日)
所沢市：議会基本条例

■ **議会運営委員会**(1月22日～24日)
観音寺市/丸亀市/小松島市：議会運営

■ **海外行政視察団**(9月25日～10月3日)
ドイツ
シュトゥットガルト市：都市計画制度
南ヘッセン州カルベン：障がい者雇用
イタリア
ブレシア市：代替エネルギーへの取り組み
フランス
サン・モール市：高齢者の自立支援策
クレティユ市：少子化防止対策

予算特別委員会

◆◆◆◆◆ 新年度予算9議案を審査・可決 ◆◆◆◆◆

3月定例会では、平成26年度当初予算関係9議案を審査するための予算特別委員会(委員12人)が、2月26日に設置され、3月10日から13日および18日の5日間にわたり審査が行われました。審査の結果、各議案はすべて原案どおり可決されました。



委員長 石渡 孝春
 副委員長 平良 清忠
 委員 飯島 照明 一山 貴志
 神崎 勝 伊橋 利保
 伊藤 昌一 鵜澤 治
 水上 幸彦 荒木 博
 海保 茂喜 足立満智子

《新年度予算の概要》

平成26年度の予算編成にあたっては、成田市の未来を見据え、「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」の次世代に誇れる空の港町、生涯を完結できるまちづくりを目指し、地域経済の活性化、地域活力の創出につながる施策を積極的に進めることで、自主財源の確保につなげるという好循環を実現し、成田市の魅力をさらに向上させることを主眼に置き、地域医療対策の推進、子育て支援と教育環境の整備、安心と安全の強化、福祉施策の充実、地域経済の推進、美しく快適なまちづくり、市政施行60周年記念事業を重点施策に掲げるとともに、市民の声に耳を傾け、市民ニーズの実情をきめ細かく把握し、的確に反映した予算編成に努めたところである。

一般会計では、対前年度比9.8パーセント増の615億円、水道事業会計を含む特別会計を加えた全体では、6.5パーセント増の870億円の予算を編成した。

<平成26年度当初予算額総計 870億927万9千円>

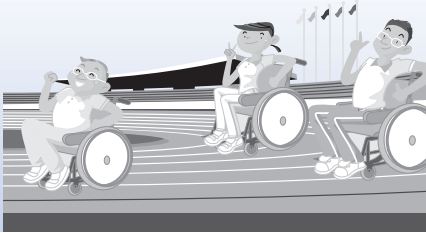
◇ 一般会計		615億円	
◇ 特別会計		255億 927万9千円	
特別会計の内訳	国民健康保険	事業勘定	131億 1,131万8千円
		施設勘定	1億 6,554万2千円
	下水道事業	19億 6,860万8千円	
	公設地方卸売市場	2億 2,607万6千円	
	介護保険	56億 1,090万2千円	
	農業集落排水事業	1億 6,761万8千円	
	後期高齢者医療	8億 4,359万円	
	簡易水道事業	4億 4,238万円	
水道事業	29億 7,324万5千円		

一般質問 代表質問

代表質問は、新年度に向けた「施政方針」などに対し、所属議員数3人以上の会派の代表が行う質問です。

1. 新年度の成田市施政方針

【リベラル成田】 伊藤昌一 議員



問 羽田空港の国際線増便を受け、日本航空および全日本空輸は、成田空港のロンドン線運休や羽田空港に新規就航する欧州、東南アジア地域の各路線を減便すると公表した。さらに、大雪の際には、多くの空港利用者が空港施設内に取り残され、TVなどで成田は陸の孤島で不便だと喧伝された。今後は、アクセス向上、成田東京間の直結線や新滑走路建設など、成田市自身が施策を提案する必要があると思われる。そこで、都心直結線の整備や、成田国際空港第3滑走路建設を求める要望書が提出されたことについて、成田市の見解を伺う。

答 国土交通省は、平成26年度予算案に都心直結線の調査費を計上し、実現可能なルートとの絞り込みなどを進める。都心直結線が整備されると、両空港のアクセス改善や都市内交通の利便性向上が見込まれるため、早期の実現を期待する。また、第3滑走路建設の要望書については、現在、国で首都圏空港の機能強化の検討が行われており、今後の動向を注視していく。

その他の質問

- ニュータウン中央線の延伸を
- 地域農業の6次産業化^{注7}は
- 障がい者のスポーツは

注7 農業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開していくような経営の多角化をいう。

2. 消費税増税に伴う負担軽減策

【公明党】 一山貴志 議員



問 4月から始まる消費税増税に伴う負担軽減策として支給される低所得者向けの臨時福祉給付金や子育て世帯向けの子育て世帯臨時特例給付金について、どちらの給付金も実施主体は自治体であり、受け取るには申請手続きが必要となることから、受給対象者にはきちんとした周知を図らなければならないが、今後、手続きの案内等、どのように給付の対応を図っていくのか。

国市長会会長が、厚生労働大臣に要望書を提出している。成田市としては、申請漏れがないよう、制度の周知に努めるとともに、簡素な申請手続きとなるよう、十分な準備をしていきたいと考えている。

その他の質問

- 世界との交流拠点として市民が誇れる都市をつくる
- 市民がいきいき働く、活力ある産業を育てる
- 市民が安全、安心、快適に暮らせる生活環境をつくる

答 いずれの給付金も簡素な給付措置が求められているが、課税情報の確認方法など、事務執行に課題もあり、平成26年1月22日に全

3. 平成26年度施政方針と予算編成

【政友クラブ】 石渡孝春 議員



問 我が国の経済は回復基調にあるとはいえ、一般市民が実感できるところには至っていない。そのような中、平成26年度予算では、一般会計が615億円で前年度比9.8%増、特別会計を加えた全体では6.5%増の870億円余と規模が拡大しているが、どのような姿勢で予算編成に臨んだのか。また、今後、都市基盤の整備をはじめ大きな支出が予想される中、健全な財政運営をすべきと思うが、財政の見通しについて伺う。

で、自主財源の確保につなげる効率的かつ効果的な編成に努めた。また、財政運営と財政の見通しについて、成田市の財政基盤は強固であり、各種財政指標でも健全性が証明されている。歳出面では、少子高齢化対策や地域経済対策などの課題に加えて都市基盤整備など大規模事業の遂行のため、行財政改革をこれまで以上に推進し、計画的、効率的かつ健全な財政運営を図っていく。

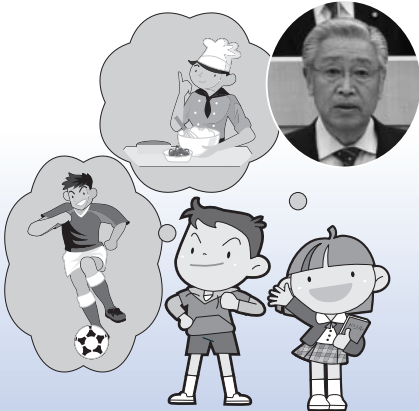
その他の質問

- 成田空港の現況と課題
- 英語科教育の現状と成果
- 国際医療福祉大学誘致の効果

答 平成26年度予算では、地域経済の活性化や地域活力の創出につながる施策を積極的に進めること

4. 子供たちに夢を与える事業の新設

【豪政会】 小山 昭 議員



問 >>> 現在、将来に夢や希望を持たない子供が多いと言われている。明るい未来を信じ何事にも自信を持って取り組めるよう、一流のアスリートに失敗や成功体験を直接伝えてもらうことは子供たちに夢と希望を与えるはずである。いじめや自殺問題等の解消にもつながる新事業として、子供たちに夢を与えるユメセンプロジェクト^{注8}事業の新設について、成田市の見解を伺う。

答 >>> 成田市の教育重点施策の一つとして、現在、各学校でこの取り組みと類似したキャリア教育を推進しており、その一例として、地域

在住のプロサッカー選手や落語家など、各分野の専門家を招いての講演や体験活動などを行っている。このようなキャリア教育は、特色ある学校づくり事業、ドリームスクール・ジャンプ21の中で実施しており、この予算はユメセンプロジェクト事業にも運用が可能と思われるため、今後は教育課程の中でどのように取り組んでいけるか考えていく。

その他の質問

- 外国人旅行者に対する観光施策
- 待機児童ゼロに向けての対策
- 空港との共存共栄を考えた騒音下住民と騒音下の土地利用

^{注8} 夢を持つことやその夢に向かって努力することの素晴らしさについて、子ども達に伝えることを目的に実施されるもの。

5. スポーツツーリズム推進

【清政会】 佐久間一彦 議員



問 >>> 市長は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを大きなチャンスととらえ、観光施策やスポーツツーリズムの推進に取り組むとしている。そこで、成田空港を中心とした交通ネットワークと宿泊環境を活用した、スポーツツーリズムを通じたまちづくりの推進やオリンピック出場チームの合宿等の誘致に向けたプロモーション活動について、どのような取り組みを考えているか。

答 >>> 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取り組みとして、トップアスリートによる合宿を誘致し、スポーツツーリズム推進

のきっかけにしたいと考えている。そのため、平成26年度、北羽鳥多目的広場の機能拡充などを目的とした基本構想を策定し、それに基づいた整備をオリンピック開催前の2019年度までに行いたいと考えている。また、トップアスリートの合宿誘致については、平成26年度に事業戦略の計画立案やプロモーション活動の手法に関する調査を実施し、実際の誘致活動も行っていきたい。

その他の質問

- 成田ブランド推進
- 成田空港のアクセス
- 防災対策

一般質問 個人質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

6. 新地方公会計制度の対応

水上幸彦 議員



問 >>> 総務省は、新地方公会計制度^{注9}の考え方として、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務4表を整備することを基本とし、発生主義会計^{注10}を行うことでお金が資産に変化する流れや、人件費など使い道がはっきりとわかるようにすることを求めている。そこで、国の新地方公会計制度で求められている財務書類の整備状況と活用について伺う。

答 >>> 成田市では、平成20年度決算から基準モデルに基づく財務書類4表を作成し、ホームページや広報なりたを通じて公表するとともに、

職員のコスト意識の向上を図るために新公会計制度に関する研修を毎年実施している。また、現在国において、新地方公会計制度推進にあたっての基準として、標準的な会計モデルを示すべく検討が進められているため、その状況を注視していきたいと考えている。

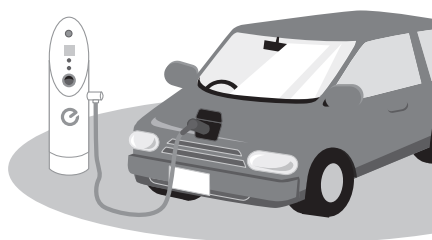
その他の質問

- ◆生活困窮者支援
- ◆市民協働のあり方
- ◆国際空港都市成田の成田国際空港との共存共栄施策

^{注9} 現金主義・単式簿記を特徴とする現在の地方自治体の会計制度に対して、発生主義・複式簿記などの企業会計手法を導入しようとする取り組み。^{注10} 収入や支出の発生する事実があった時点で収益や費用を計上する方法。

7. 公用車を電気自動車へ

平良清忠 議員



問 松戸市では、松戸市減CO2大作戦（松戸市地球温暖化対策地域推進計画）に掲げられた、電気自動車（EV）率先導入事業に基づき、公用車として電気自動車を導入している。また、茨城県土浦市も、環境問題に対する市の取り組み姿勢を強くアピールするため、電気自動車を県内自治体で初めて導入した。成田市でも、車の買い替え時やリース期間終了のものから電気自動車に替えてはと提案するが、市長の考えは。

答 成田市では、地球温暖化防止の観点から、平成25年3月策定の第3次成田市環境保全率先実行計

画により、成田市の全ての事務事業から排出される温室効果ガス削減のため、省エネルギーおよび省資源活動に取り組んでいる。平成25年度は、さらに環境への負荷が少ない電気自動車をリース契約により1台導入し、充電設備も整備しており、平成26年度も1台導入する予定である。今後は、経済性や利便性などを検証し、環境に配慮した電気自動車やハイブリッド車の導入を進めていく。

その他の質問

- ◆不法投棄対策
- ◆野良猫対策についての取り組み
- ◆生活道路に対する除雪対策

8. 教育委員会制度改悪の動き

馬込勝未 議員



問 戦前の軍国主義教育の反省から、首長の支配を排した住民による合議体の執行機関としての教育委員会が発足した。しかし、教育委員会制度の改定における最近の動きとして、自民党が教育政策の基本、教育条件、教育人事の方針も全て首長側に決定権を移し、教育委員会を独立した執行機関から首長の実質上の附属機関に変えてしまう内容の教育委員会制度改革案を大筋で了承した。今回のこの動きについて、市長と教育委員会の考えを伺う。

答 現行制度見直しの必要性を直接的に感じるものではないが、

国で抜本的な見直しが検討されている背景は十分に理解している。今後も国の対応を注視するが、どのような制度改正が行われた場合でも、市長と教育委員会とが十分な連携を図りながら教育行政を進めたい。また、教育について首長として介入するのは中立性が保たれないと認識している。

その他の質問

- ◆特定秘密保護法の廃止を求めべき
- ◆紛争の平和的解決は世界の流れ
- ◆親族の扶養は生活保護開始の条件ではない

9. 大学校舎建設業者の選定が大学一任の理由

雨宮真吾 議員



問 成田市に大学建設をする事業は、市民の血税約20億円で購入した土地を大学側が無償で借り、30億円もの補助金を受けて校舎建設をするという、合計で50億円もの公金を投入する事業であり、大学側においてもこれまで以上に説明責任が伴われるものと思慮する。そこで、そもそも大学誘致の取り決めを大学側と行う中で、なぜ建設業者の選定を大学側に一任する運びとなったのか伺う。

答 校舎建設業者の選定が大学一任の理由について、今回はあくまでも誘致ということで、校舎建設

の事業主体は大学であるため、建設業者の選定について成田市が直接関与するという性格のものではないと考えている。また、補助額については、成田市と大学が協議を行い、双方合意の上で今回の誘致を推進しており、大学から補助金の交付申請が出た段階で、補助対象経費の精査を行いたいと考えている。

その他の質問

- ◆大学側での建設業者選定方法
- ◆補助金額を踏まえても校舎建設業者選定に行政が関わるべき
- ◆発注金額の妥当性におけるチェック体制は



10. 西三里塚大清水線の進捗状況

神崎 勝 議員



▲工事が進む西三里塚大清水線

問 >>> 遠山中学校の生徒の多くは自転車通学であり、交通量の多い県道成田松尾線を利用している。そこで、成田松尾線の第二バイパスと、遠山中学校への新たな通学路を目的とした、西三里塚大清水線が計画された。整備の見通しが立たない狭隘な歩道を徒歩の小学生と自転車の中学生が日々、危険と隣り合わせで通学しており、この解消は一刻を争うものと考えるが、西三里塚大清水線の進捗状況と今後の予定は。

答 >>> 全体計画のうち、川栗側の現道拡幅区間となる650メートルを1工区とし、平成24年度より用地

交渉を行い、平成25年度より工事着手している。今後は、遠山地区の重要な役割を持つ道路として、また、小中学校児童生徒の安全安心な通学路整備のため、1工区のさらなる整備促進を図るとともに、新設道路となる畑ケ田地先から西三里塚地先までの延長約1,600メートル区間においても、国庫補助金を活用して引き続き関係地権者の理解を得ながら早期完成に向けて鋭意努力していく。

その他の質問

- ◆安全安心なまちづくり
- ◆成田市建設業災害対策協力会
- ◆ノロウイルス対策

11. 約30億円とも言われる建設費助成の精査は

神崎利一 議員



問 >>> 国際医療福祉大学への土地の無償貸与が50年1カ月に延長された。最後には無償譲渡になってしまわないかとの不安も残るが、建築段階に入り、約30億円とも言われる建設費助成について建築工事費や設計金額などの精査はどのようにしていくのか。また、地元企業の建築工事への参入や卒業生の地元病院への就職などの要望を出し、大学側と交渉できるのは今回が条件的に最後と思うが、成田市の見解は。

答 >>> 大学が発注する校舎建築工事の設計金額の妥当性は、大学より補助金の交付申請が出た段階で、

成田市補助金等交付規則に基づいて精査を行いたい。また、大学側との条件的な交渉は、校舎建築工事の下請業者などの選定に市内業者の活用や、建築後のメンテナンスには、地元企業との連携を図ること、大学職員は、市民を初め地元から優先的に採用すること、さらに卒業生が地元の病院に定着する手だてを講ずるなど、大学と協議しながら進めたい。

その他の質問

- ◆空港問題
- ◆成田市医学部新設に対する反対意見書
- ◆昨年の台風災害後の復旧状況は

12. 大学誘致問題での説明責任

油田 清 議員



問 >>> 大学誘致問題は、議会でも市民の間でもとても消化不良の状態にある。多額の補助金と審議する期間の短さ、成田市からの情報提供のあり方などの問題があるためである。印旛市郡医師会からも医学部新設に対する反対意見書が提出されている。30億円の補助金に関し入札がきちんと行われているか業者選定はどうか、補助金額は多いのではないかなど、市民の中で疑問がたくさん出ている。義務はなくとも誘致した責任として、入札状況や業者選定についてきちんと聞き取り、市民や議会に説明する責任があったのではないかと考えるが、見解は。

答 >>> あくまでも誘致ということで、校舎建設の事業主体は大学であり、建設業者の選定については、成田市が直接関与する性格のものではないと考えている。しかし、大学側にもしっかりと確認を行い、特別委員会で報告したいと考えている。

その他の質問

- ◆除雪対策と危機管理
- ◆民生委員の選任に向けた負担軽減
- ◆認知症対策

13. 農業問題

福島浩一 議員



問 国は水田政策の大転換で、新たな経営所得安定対策を予算計上するとともに、農地の貸し手への支援や農地・水保全管理支払いの組み替え等を行い、農業、農村の所得を今後10年間で倍増させる方針だが、成田市の農業者への影響と今後独自の支援策を考えているか伺う。

答 国の決定した、生産する主食用米への補助金半減や米価変動補填交付金の廃止は、農家への収入面で大きな影響があると認識しており、成田市独自に交付している作物別補助金を増額して農家への経営支援を行っていく。また、農地の貸し

手支援については、関係機関と連携して担い手への農地集積に取り組む。農地・水保全管理については、現在市内6地区での活動組織を結成して農業用施設の保全活動や環境美化活動に取り組んでおり、今後は、地域の主体的な取り組みを支援し、農業、農村の活性化を図っていく。

その他の質問

- ◆ 昨年の台風26号の農地・農業施設災害復旧の進捗状況は
- ◆ 2月8日の大雪の農業施設関係の被害状況は
- ◆ 成田市の地産地消に対し農業政策での位置づけは

14. 「ひきこもり」について

青野勝行 議員



問 平成22年の内閣府の調査では、全国で約70万人がひきこもりという衝撃的な結果が発表されている。ひきこもりに関しては、独自に調査、対策を検討している自治体もあるが、年齢や性別、原因や疾病状況など、個々により様々で定義づけが難しく、効果的な対応策も確立されていない。そこで、成田市の取り組みについて伺う。

答 成田市では、保健福祉館で、毎月こころの健康相談を実施し、障がい者相談センターでも、相談対応を行っている。また、主に精神障がいによるひきこもりの社会復帰に

向けた支援と日中活動の拠点として、あじさい工房や市内2カ所に地域活動支援センターを設置して支援している。しかし、ひきこもりの相談は表に出にくいことから、支援者側が積極的にアプローチしていく、アウトリーチ^{注11}という手法が注目されている。現在、国ではモデル事業として、医療機関を中心としたアウトリーチ事業の実践、検証が行われているため、この動向に注視し、必要な支援策について調査研究を行っていく。

その他の質問

- ◆ 障がい者（児）福祉
- ◆ 不登校児童生徒

注11 地域において社会的な繋がりがから孤立している状態であっても、自発的に援助を求めることができない方に対し、支援機関などが積極的に働きかけて支援の実現をめざすこと。

15. 卸売市場のあり方や再整備

伊藤竹夫 議員



問 成田市場は開設以来40年が経ち、施設の老朽化に加えて、耐震工事が急務となっている。平成25年7月に卸売市場基本方針策定に係る調査報告書がまとまり、12月には市場審議会からの答申を受けて再整備に向けた基本方針の策定が進められている。卸売市場を取り巻く環境は、消費者ニーズの多様化や市場外流通の拡大などにより、大幅に取扱量も削減するなど、開設当時と比べて大きく変化している。そうした中で、成田市の経済活性化のため、成田の特性を生かした市場づくりを目指すべきと考えるが、市場再整備の基本方針について見解を伺う。

答 平成25年12月に市場運営審議会から答申を受けたが、成田市の費用負担などさらに詳細な把握、分析を進める必要性から、平成26年度に市場再整備の基本方針および再整備基本計画の策定に取り組む。また、市場施設の機能強化による物流拠点化を初め、成田空港に近接した特性を生かし、農水産物加工業者の誘致や成田地域産品などの輸出拠点化、さらに国内外の観光客への観光ルートとなるような常設販売の実施などに取り組むたいと考えている。

その他の質問

- ◆ 将来の成田市場の姿



16. 地域包括ケアシステムの構築

大倉富重雄 議員



▲地域包括ケア推進拠点の地域包括支援センター

問 》》》 これから迎える高齢社会にどう対応するか、成田市にとっても重要課題の一つであると考えている。この課題を解消する一つのキーワードは地域包括ケアシステム^{注12}であるといわれている。そこで、地域包括ケアシステム構築のため、成田市も早急に取り組むべきであると考え、平成23年9月議会、平成24年12月議会で地域包括ケア体制のあり方について市長の見解を伺い、地域ケア会議の開催を検討するなどの答弁をいただいた。将来のため、成田市にふさわしい地域包括ケアシステムを構築してほしいと願っているが、取り組み状況について伺う。

注12 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制。

答 》》》 地域ケア会議の開催を積極的に行い、地域の社会資源と地域特有の課題のより一層の把握に努め、ネットワークづくりに向けての取り組みを強化していく。また、今後も地域包括支援センターが地域包括ケア推進の拠点としての機能を十分に果たせるよう充実させ、医療・介護の関係機関や地域住民と協働で成田市の実情にあった地域包括ケアシステムの構築に努めていく。

その他の質問

- ◆消防団の処遇改善
- ◆いじめ防止
- ◆就学援助制度

17. インバウンド観光のより一層の拡大に向けて

飯島照明 議員



問 》》》 2013年には、訪日外国人客数が過去最高の1,036万4,000人となり、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催が決まるなど、今後、観光の分野にはさらなる追い風が吹くことが予想される。そのため、行政としても、期待の持てる数少ない成長分野である観光を downstream 支えることは必須であり、外国人旅行者を呼び込むための受け入れ体制の整備が必要となるが、成田市におけるおもてなしのソフトインフラと優しさのハードインフラの取り組みについて伺う。

答 》》》 成田を訪れた外国人観光

注13 無線でネットワークに接続する技術のこと。

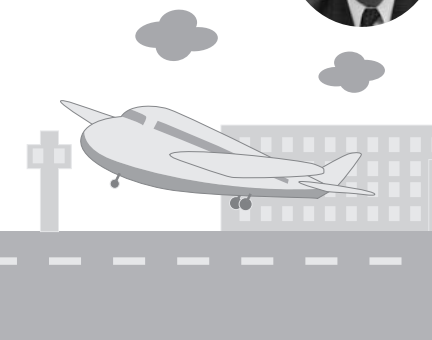
客へのおもてなしの一つとして、よりスムーズで快適に情報が得られるよう、市内ホテルや成田山表参道を中心に、Wi-Fi^{注13}フリースポットの整備を行い、平成26年3月中に正式運用が開始される予定である。また、観光庁の事業により、英語メニューの併記を行っている飲食店の情報をまとめたバー・アンド・レストランガイドを外国語4言語で作成し、市内ホテルなどで配布している。今後も、外国人観光客に対する受け入れ環境の整備に努めていく。

その他の質問

- ◆ふるさと寄附金について

18. 滑走路増設で見解を

鵜澤 治 議員



問 》》》 成田空港のBラン北側延伸や第3滑走路新設などが新聞報道されている。平成24年は、カーフェー^{注14}の弾力的運用問題で、市長は圧倒的な反対の声に反して国策を理由に受け入れに同意した。Bラン北側延伸問題などは、滑走路の増設や容量拡大、増便につながるが、手順を経て正式提案された場合の市長の対処について、見解を伺う。

答 》》》 首都圏空港のさらなる機能強化については、現在、国において、学者や専門家の有識者で構成する首都圏空港機能強化技術検討小委員会を設置し、検討していると聞い

注14 空港周辺騒音防止対策の為に航空機の離着陸を禁止している時間帯。

ている。国土交通省では、平成25年度中に、この小委員会が出された具体的な機能強化策にかかる技術的な選択肢をもとに、平成26年度以降に、自治体や航空会社など関係者も参加した新たな場を設けて合意形成を図っていくとのことであるが、現時点では、具体的な内容は示されておらず、成田市では、今後の国の動向を注視したいと考えている。

その他の質問

- ◆騒音健康影響調査で住民代表を
- ◆夜間騒音の補償対策は
- ◆地域農業再生へ展望は

19. 第3次動植物生息調査に向けて

足立満智子 議員



▲サンノゴイの営巣地、印旛沼

問 成田空港の建設や開港により、成田市は開発や人口増加など都市化が進んだ。そうした中で、平成5年から8年までの第1次調査、平成14年、15年の第2次調査に続き平成26年、27年の2年にわたり、第3次調査が計画されている。そこで、1次、2次調査による成田市の自然環境、生物多様性の変化をどう把握しているか。10年ぶりとなる第3次調査をどう位置づけるか。調査に市民も参加できるのか伺う。

答 過去2回の調査結果は、水辺、陸域ともに生息種類がほぼ同程度で、自然環境に大きな変化はな

いと考える。生物多様性は、鳥類がバランスよく生息しており、良好に保たれていると考える。また、第3次調査は、前回調査から10年が経ち、生態系の変化が予測されるのと、合併による市域拡大のため、自然環境や動植物生息状況の移り変わりの把握に重点を置く。また、市民に調査の一部に参加してもらうなど、協働での取り組みを検討していく。

その他の質問

- ◆特定秘密保護法と市民の安全、成田市国民保護計画との整合性
- ◆国家戦略特区^{注15} 国際医療学園都市構想^{注16}

^{注15} 政府が、地域を区切って大胆に規制緩和や税制優遇を進め、経済の底上げを狙う制度。

^{注16} 医学部設置を起爆剤として、医療産業を誘致集積するなど、一大医療学園都市を築こうとする構想。

20. 里親制度の普及啓発を

會津素子 議員



問 近年、里親制度^{注17}の必要性が高まっているが、日本ではあまり普及していない。2009年12月に国連総会で決議された児童の代替的養護に関する指針では3歳未満の幼い児童の代替的養護は家庭を基本とした環境で提供されるべきとしているが、成田市は子どもの家庭的環境での養護の重要性をどう認識しているか。また、里親制度の普及啓発に努めてほしいがいかがか。

答 家族を基本とした家庭は子どもの成長や保護にとって自然な環境であり、安心感や基本的信頼感を育め、家庭生活を築く上でのモデ

ルとなるため、里親委託は大変重要と考えている。また、里親制度の普及啓発については、千葉県と千葉県里親会が開催する里親大会の広報をはじめ、成田市のホームページや広報なりたなどを通じて制度の普及に努めていく。

その他の質問

- ◆難病患者同士の情報交換や相談の場の提供を
- ◆イスラム教徒やベジタリアン観光客に配慮した対応を
- ◆審議会等における女性の登用促進を

^{注17} 家庭での養育が受けられなくなった子ども等に、愛情と正しい理解を持った家庭環境の下での養育を提供する制度。

21. 米の減反政策廃止と新制度の取り組み姿勢

小澤孝一 議員



問 政府は、米政策の大転換として、1970年から続いた減反政策を廃止し、補助金の見直しを行うという新たな方向性を示している。所得が減少する農家が多くなり、農地の耕作放棄地拡大や若者の他産業への移行、高齢化が進む中で担い手不足がますます加速すると懸念される。そこで、減反政策から新制度に変わり、国は補助金の配分を地方に任せていく方針を固めたとのことだが、成田市の取り組みについて伺う。

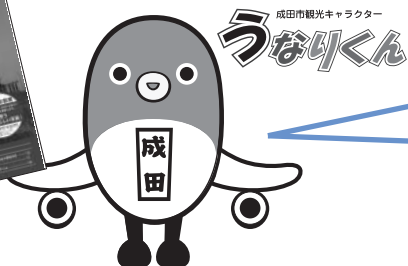
答 国は、経営所得安定対策の見直しを決定し、地域の取り組みに応じた産地交付金の拡充など、水

田活用の直接支払交付金を充実させるとしている。この産地交付金は、国からの配分資金枠の中で、地方が助成内容を設定でき、千葉県では飼料用米・米粉用米の多収性専用品種への取り組みなどへ交付を検討している。成田市でも、水田での転作に対して交付している市独自の作物別補助金の中で、飼料用米などに対する補助金を増額し、主食用米から移行しやすい水田活用を支援していく。

その他の質問

- ◆直売所の方向性と取り組み
- ◆民家崖崩れ補助金と復旧工事
- ◆下総みどり学園の展望

**** 表紙写真を募集します！ ****



市議会だより編集委員会では、
年4回（2月、5月、8月、11月）
市議会だよりを発行しています。
次号（平成26年8月1日発行）の表紙
に掲載する写真を募集します。

【募集内容】

- ◎テーマ：あなたが想う成田らしい写真（風景・イベント・お祭りなど）。
- ◎規格など：デジタル写真データ（JPEG形式サイズ1MB以上3MB以下）。
- ◎応募規定：応募者が撮影し被写体の承諾を得たもの。応募は1人1回につき、2点まで。
- ◎受付期間：作品は原則随時受け付けします。但し、イベントや季節を感じるものについては、発行日の6週間前（6月20日）から締切日（7月14日）までの間に撮影された写真を審査の対象とします。
- ◎紙面への掲載：写真のタイトルおよび写真のキャプション、撮影者名を掲載させていただきます。また、作品はシロクロで掲載されます。

◎応募方法

- ・写真のタイトル（10字程度）
 - ・写真のキャプション（写真に添える説明文80字以内）
 - ・氏名
 - ・住所
 - ・電話番号
 - ・撮影場所
 - ・撮影年月日
- を明記の上、議会事務局まで郵送または電子メールでご応募ください。（電子メールでの応募の際は、1作品単位でお送りください。）
- ◎選考：市議会だより編集委員会で行います。
 - ◎注意事項：応募作品の返却は原則行いません。
 - ◎応募・問い合わせ先：市議会事務局
〒286-8585
住所：成田市花崎町760 電話：0476-20-1570
メール：gikai@city.narita.chiba.jp

6月定例会は、 6月6日(金)開会予定です。

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、
市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760
TEL 0476(20)1570(直通)
FAX 0476(24)0336

成田市議会

検索

議会を傍聴してみませんか

本会議はもちろん、常任委員会・特別委員会の様子を傍聴することができます。

日程や一般質問の質問項目は、市議会ホームページで確認するか、議会事務局までお問い合わせください。

傍聴は、会議の始まる30分前から受け付けします。

コーヒータイム



平成26年2月8日は、数十年ぶりの記録的な大雪となりました。

当日は、公共交通機関の乱れや、国道、県道、市道などにも影響が出るなど、市民生活に大きな混乱をもたらしました。また、航空機の離発着も中止や大幅な遅延が発生し、成田国際空港内では、約8,270人も帰宅困難者が発生しました。昨年台風災害に引き続き、またも自然の驚異にさらされた格好となりました。

3月議会では、防災や除雪に関する質問が多く出されました。成田市としましても、今まで以上に災害に強いまちづくりをめざして取り組まなければなりません。自助・共助・公助での地域の安全を願うところです。

終わりに、成田市では、自主防災組織の拡大に努めておりますので、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

市議会だより編集委員 神崎 勝

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。

リサイクル適正 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

PRINTED WITH
SOYINK™
環境に優しい大豆インクを使用しています。